雲仙岳(平成 15年(2003年)年報)

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、1(静穏な火山活動)です(2003年11月4日~12月31日)。

平成 15年の活動概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました。

平成 15年の主な活動、その他関連する事項

時期	火山活動及び業務概要	火山情報発表状況			
1~ 12 月	[火山活動]	11 月			
	火山活動に大きな変化は認められず、静かな状態が続き	4日 観測1号			
	ました。				
	2月と4月に火山性微動を合計4回観測しましたが、火				
	山活動に変化はありませんでした。				
	[そ の他]				
	5月27~31日 第1回調査観測				
	11 月 4 日 「火山活動度レベル」の公表開始。				
	11月6~10日 第2回調査観測				

火山情報の発表状況

火 山 情 報 名	発表日時	概要
火山観測情報第1号	11月4日11時00分	「火山活動度レベル」公表開始

噴煙活動の状況

噴煙は白色・ごく少量で、噴煙高度の最高は2月12日、3月2日及び12月15日の100mでした(図1、図2)。

地震・微動活動の状況

火山性地震の発生回数は少ない状態で経過しました(図 1、図 2)。震源は溶岩ドーム直下付近と橘湾に分布しています(図 3)。火山性微動が 2 月に 1 回、 4 月に 3 回発生しましたが(図 1、図 2)、火山活動に変化は見られませんでした。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、雲仙岳測候所 - 田代原、雲仙岳測候所 - 垂木台地、田代原 - 垂木台地の各観測点間の基線長には火山活動に起因する変化はありませんでした(図4)。

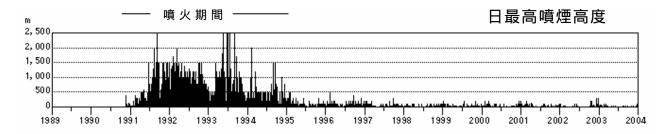
溶岩ドーム温度の状況

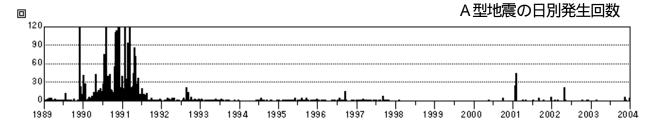
5月27~31日と11月6~10日に調査観測を実施しました。溶岩ドームの地熱地帯の状況に大きな変化は見られませんでした(図 6)。

雲仙岳 - 1 -

GPS 繰り返し観測

2002年12月と2003年11月の2回のGPS繰り返し観測では、平成新山の西側ではほとんど変動はありませんが、中央部ではこの間、水平変動量で23~155mm、上下変動量で-181~-318mmが観測され、広がりながら沈む動きをしています(図8)。つまり、急激に成長した平成新山は、自らの重みに強度が耐えられず、主に東側の斜面方向に潰れるような動き(自重沈降)を続けており、これは山体を安定させる動きであると考えられます。





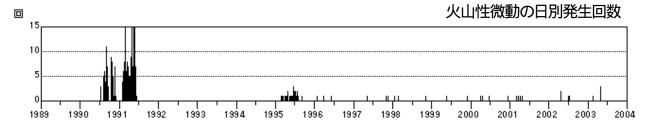


図 1 火山活動経過図(1989年1月1日~2003年12月31日)

雲仙岳 - 2 -

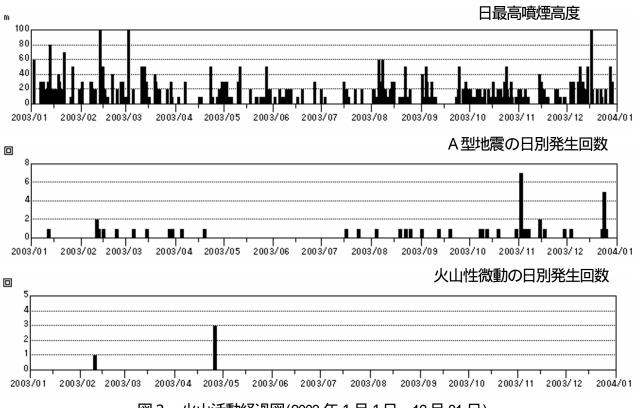


図 2 火山活動経過図(2003年1月1日~12月31日)

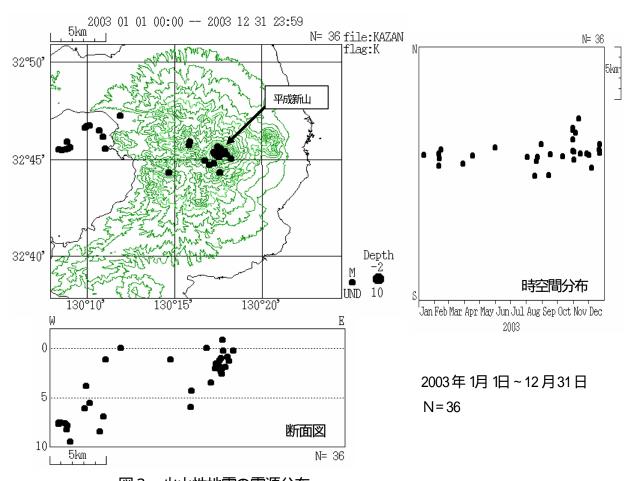
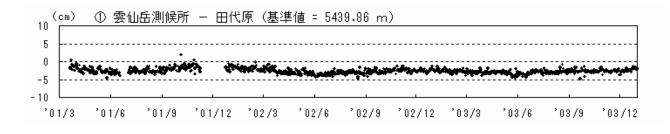
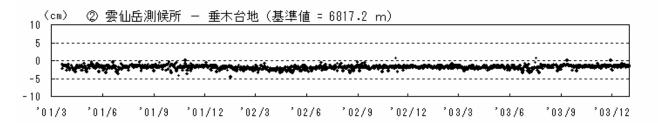


図3 火山性地震の震源分布 広域の観測網と火山観測点を使用して震源を求めた。

雲仙岳 - 3 -





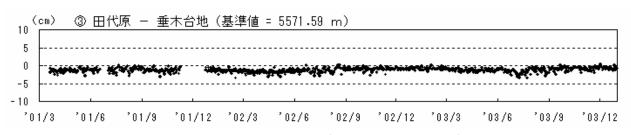
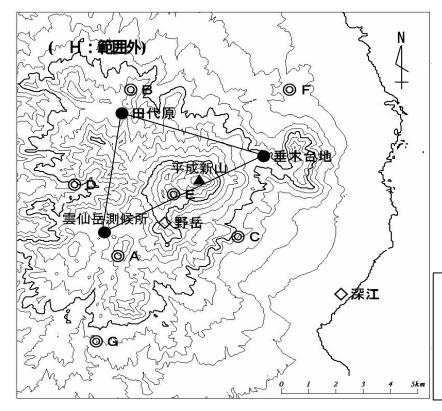


図4 GPS による基線長変化(2001年3月19日~2003年12月31日)

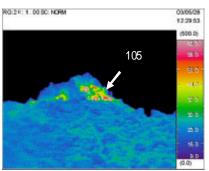


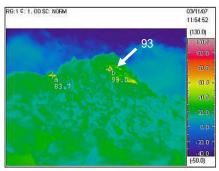
気象庁観測点 遠望カメラ 2点() 地震計 9点(, 測候所) 空振計 2点(C, F) 傾斜計 2点(B, E)

図 5 観測点位置図

雲仙岳 - 1 -

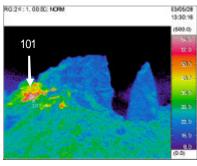


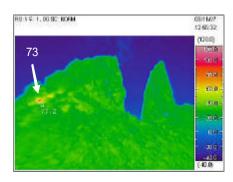




TD1 観測点から撮影した可視画像と熱映像

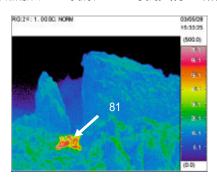


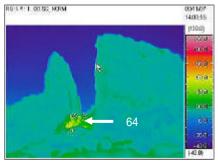




TD2 観測点から撮影した可視画像と熱映像

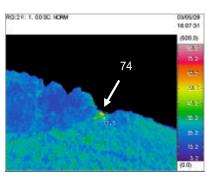


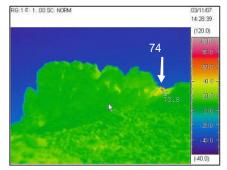




TD3 観測点から撮影した可視画像と熱映像







TD4 観測点から撮影した可視画像と熱映像

図 6 ドーム上の可視画像と熱映像。左の可視画像に対応するのが中央と右側の熱映像。中央の熱映像は 2003 年 5 月、右側は 2003 年 11 月撮影。観測点は図 7 参照。 TD4 以外の観測点から撮影した熱映像の最高温度は低下している。

雲仙岳 - 2 -

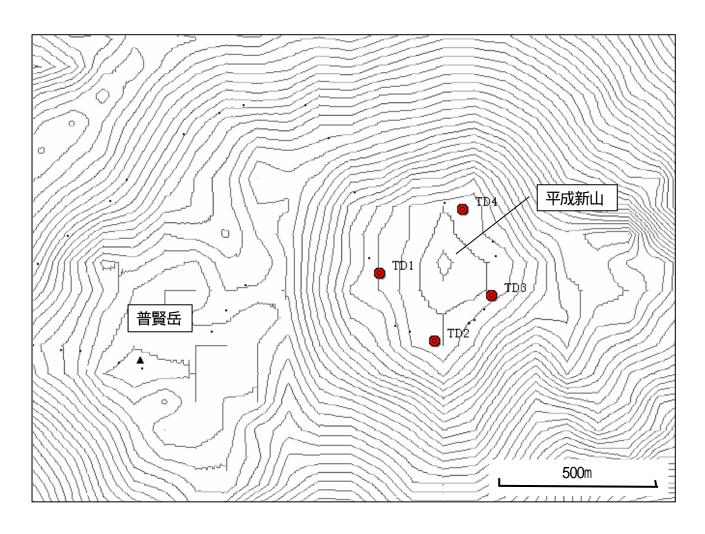
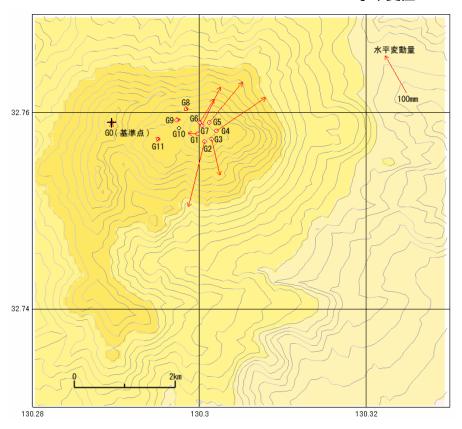


図7 熱映像観測点(TD1~TD4)位置図

雲仙岳 - 3 -

水平变位



上下变位

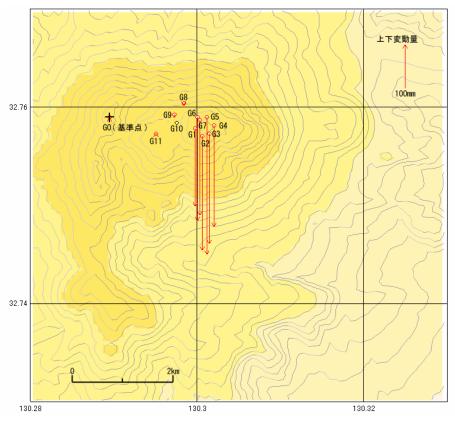


図8 GPS 繰り返し観測によって得られた変位ベクトル。 (2002 年 12 月 2003 年 11 月、基準点 GO)

雲仙岳 - 4 -

資料

火山性地震日別回数表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
3日	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
4日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
14日	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
22日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
23日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
24日	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
29日	0		1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
30日	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0		0		1		1	1		0		0
月合計	1	5	4	2	1	0	5	5	3	5	15	9
年合計	55		_					_				_

雲仙岳 - 5 -

観測点情報

観測点	観測項目	緯度	経度	標高	備考		
0	地震計	32 44.1	130 15.9	678	雲仙岳測候所(Unzendake WS)		
	震劈計	32 44.1	130 15.9				
Α	地震計	32 43.9	130 16.2	769	矢岳(Yadake)		
В	地震計 (貸給計	32 47.4	130 16.5	655	鳥甲山(Torikabuto)		
С	地震計 空底計	32 44.3	130 19.0	400	岩床山(lwatokoyama)		
D	地震計	32 45.4	130 15.2	420	上岳(Kamitake)		
Е	地震計 (蘇浦)	32 45.1	130 17.6	1075	薊谷(Azamidani)		
F	地震計 空底計	32 47.4	130 20.2	185	杉谷(Sugitani)		
G	地震計	32 42.1	130 15.7	400	慈恩寺(Jionji)		
Н	地震計	32 48.3	130 08.0	66	森山町(Moriyamatyou)		
雲仙岳測候所	GPS	32 44.1	130 15.9	685	雲仙岳測候所(Unzendake WS) 観測開始 H13.3		
垂木台地	GPS	32 46.0	130 19.6	586	垂木台地(Tarukidaichi) 観測開始 H13.3		
田代原	GPS	32 47.0	130 16.3	640	田代原(Tashirobaru) 観測開始 H13.3		
野岳	遠望力メラ	32 44.3	130 17.4	1142	野岳(Nodake)		
深江	遠望力メラ	32 42.9	130 21.4	15	深江(Fukae)		
					噴煙の位置(Location of plumes)		
第10溶岩 1-4		32 45.5	130 18.1	1486	A10: 第10 溶岩 - L(Lava Dome No.10)		
第11溶岩 - 4		32 45.5	130 18.2	1300	A11: 第11 溶岩 ί-Δ(Lava Dome No.11)		
Р	現雌則	32 45.5	130 18.1	1486	溶岩 F-Δ(Lava Domes)		
P-1	噴気	SW100m from P			溶岩ト-ム No.1(Lava Domes - point no.1)		
P-5	噴気	SSE50m from P			溶岩ドーム No.5(Lava Domes - point no.5)		
P-7	噴気	SE50m from P			溶岩トーム No.7(Lava Domes - point no.7)		

観測点位置は図5を参照

雲仙岳 - 6 -